

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年03月12日

計画の名称	28 ストック効果を高めるアクセス道路整備による道づくり												
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	笛吹市, 上野原市, 中央市												
計画の目標	リニア駅並びに工業団地へのアクセス強化を図り、アクセス性が高く渋滞のない円滑な道路の整備により、観光客数の増加や商工業施設の誘致を促進し、活力のあるまちづくりを進める。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,212	A	1,212	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	R2末	R4末
1	笛吹八代SIC～石橋工業団地間の移動時間の短縮を目標とし、商工業施設誘致の促進を図る。 笛吹八代SIC～石橋工業団地間の短縮された移動時間を指標とする。 (短縮された移動時間) = (整備前の移動時間) - (整備後の移動時間)	12分	12分	6分
2	東京医科大学八王子医療センター～談合坂SIC間の移動時間の短縮を目標とし地域の救急医療体制の促進を図る。 東京医科大学八王子医療センター～談合坂SICへの短縮された移動時間を指標とする。 (短縮された移動時間) = (整備前の移動時間) - (整備後の移動時間)	39分	39分	26分
3	市中心部(市役所(本庁)近辺)～リニア駅への短縮された移動時間を指標とする。 市中心部(市役所(本庁)近辺)～リニア駅間の短縮された移動時間を指標とする。 (短縮された移動時間) = (整備前の移動時間) - (整備後の移動時間)	13分	13分	6分

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	道路	一般	笛吹市	直接	笛吹市	市町村道	改築	1-13号線道路改良事業	バイパス L=1.50km	笛吹市						525		-	
		28-A10-1																		
	A01-002	道路	一般	上野原市	直接	上野原市	市町村道	改築	談合坂サービスエリア線道路改良事業(大野工区)	道路改良 L=1.2km	上野原市							344		-
		28-A11-1																		
	A01-003	道路	一般	中央市	直接	中央市	市町村道	改築	田富玉穂大津線道路改良事業(布施工区)	バイパス L=0.58km	中央市							343		-
		28-A13-1																		
											小計							1,212		
											合計							1,212		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
山梨県において各交付団体における目標の達成状況やその要因分析を行い、評価を実施した。	交付期間の終了後
	公表の方法
	山梨県ホームページにて公表 ( <a href="https://www.pref.yamanashi.jp/kendosom/syaka_ishihonseibisougoukoufukin.html">https://www.pref.yamanashi.jp/kendosom/syaka_ishihonseibisougoukoufukin.html</a> )
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	道路整備事業（道路改良・バイパス整備）の実施により、工業団地やスマートIC、リニア駅へのアクセス性が向上された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
今後も効果的・効率的な道路整備を推進することにて、更なるストック効果の発現を目指す。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	笛吹八代SIC～石橋工業団地間の短縮された移動時間	
	最終目標値	6分
	最終実績値	6分
2	東京医科大学八王子医療センター～談合坂SICへの短縮された移動時間	
	最終目標値	26分
	最終実績値	26分
3	市中心部（市役所（本庁）近辺）～リニア駅への短縮された移動時間	
	最終目標値	6分
	最終実績値	6分